湯沢町の町債と財産

町債の状況 町民一人当たり約92万1千円

町債残調	高	一般会計	下水道事業会計	水道事業会計	病院事業会計	合計
令和 5 年度元	卡残高	49億8,515万3千円	21億3,823万3千円	1億6,215万1千円	3億6,353万6千円	76億4,907万3千円
A10.6 4 F	元金	3億9,058万1千円	3億2,122万3千円	4,108万4千円	8,186万7千円	8億3,475万5千円
令和6年度 返済額	利子	2,495万8千円	2,380万2千円	344万1千円	248万4千円	5,468万5千円
以 / 注 / 注 / 注 / 注 / 注 / 注 / 注 / 注 / 注 /	計	4億1,553万9千円	3億4,502万5千円	4,452万5千円	8,435万1千円	8億8,944万円
令和 6 年度借入額		5億3,488万8千円	1億800万円	-	7,570万円	7億1,858万8千円
令和 6 年度末残高		51 億 2,946 万円	19億2,501万円	1億2,106万7千円	3億5,736万9千円	75億3,290万6千円

町民一人あたりの残高は、75億3,290万6千円÷8,181人(令和7年3月31日現在) ⇒92万1千円です。(昨年度は94万9千円)

大規模な建設事業等、単年度で多額の財源を必要とする事業を実施する場合には、町債の借入を行っています。 借入を行うことで財政負担を後年度に平準化し、道路や 公園等、長期間にわたって利用する施設の整備について、 現在と将来の世代とで負担を分け合うこととなります。 借入れにあたっては、地方交付税を算定する際に償還金がどの程度算入されるのかを検討するなど、後年度の 負担が過大とならないよう配慮しながら財源の確保に努めています。

基金の状況 一般会計基金残高は約23億3千万円

	令和6年	度末 基金残高	
	名称	年度末残高	利子収入額
一般公計	財政調整基金	12億5,636万7千円	170万7千円
	減債基金	7,572万7千円	5万6千円
	美術館建設基金	1億162万9千円	8万6千円
	ふるさと基金	1 億円	110万円
	湯沢こころのふるさと基金	7億3,213万9千円	53万9千円
	その他の基金	6,353万4千円	4万7千円
	計	23億2,939万6千円	353万5千円
国民健康保険支払準備基金		1億3,025万6千円	10万円
介護給付費準備基金		2億3,207万3千円	16万7千円
	合計	26億9,172万5千円	380万2千円

財政調整基金は財源に余裕がある場合に積み立て、財源が不足する場合に取り崩すことで、財源の不均衡を調整するための基金です。地方交付税の増等により基金残高は前年度末より3,452万8千円増となりました。

その他の基金は特定の目的のために積み立てて いるものです。

湯沢こころのふるさと基金は、ふるさと納税の 寄付金を積み立て、事業の財源として取り崩し活 用しています。寄付金の増により基金残高は前年 度末より 9,517 万 4 千円増となりました。

ふるさと基金以外の基金は一括して運用して おり、令和6年度は定期預金、債券の利子等で 380万2千円の収入がありました。

特別会計決算状況

一般的な行政に係る経費を賄う一般会計とは別に、湯沢町には特定の事業を行うための特別会計と企業会計があります。これらの事業は独立採算を原則としていますが、法令により一般会計が負担すべきとされているもののほか、事業を運営するうえで収入が不足する場合には、不足分を一般会計が負担しています。

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	一般会計繰出額	実質収支額
国民健康保険特別会計	10億551万1千円	9億8,113万4千円	9,262万5千円	2,437万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,246万6千円	1億4,092万1千円	3,179万5千円	154万5千円
介護保険特別会計	9億8,885万円	9億4,159万円	1億5,780万9千円	4,726 万円

企業会計名	事業収益合計	事業費用合計	一般会計補助額	純利益
水道事業会計	3億9,129万4千円	3億4,403万4千円	1,544万7千円	3,965万4千円
下水道事業会計	8億8,930万円	7億8,791万2千円	3億9,140万円	9,502万2千円
病院事業会計	3億5,102万円	3億951万7千円	3億5,432万3千円	4,150万3千円